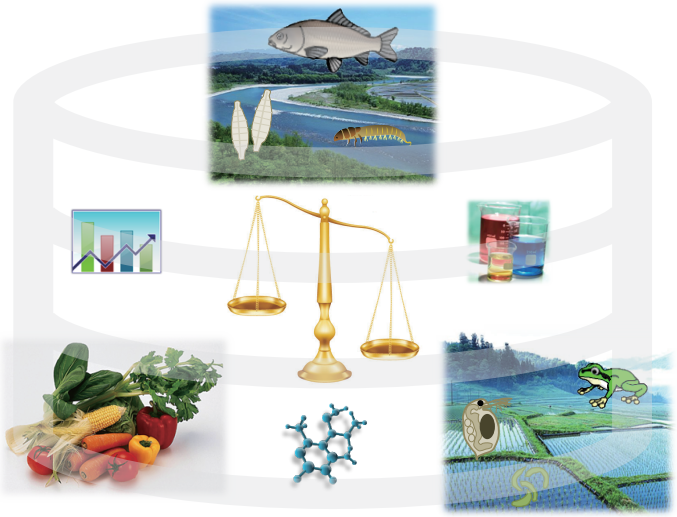
NIAES30周年記念ワークショップ
第４回農業環境インベントリー研究会

農薬等化学物質のリスク評価を効率的に行うためのインベントリー構築



本研究会では、農薬など化学物質のリスク研究に携わる専門家より最近の研究事例を紹介し、リスク評価を効率的に行う上で、様々な情報基盤の重要性を確認するとともに、今後の課題について議論します。

日時 平成26年 2014 2月27【木】日 13:00～17:30　定員200名　入場無料

会場 つくば国際会議場　エポカルつくば　中ホール200

スケジュール

■ 挨拶・趣旨説明 13:00～13:25

来賓挨拶　環境省農薬環境管理室長　更田　真一郎
農林水産省農薬対策室長補佐　入江　真理

■ 基調講演 13:25～14:10

化学物質の健康リスク等の情報提供基盤の現状
横浜国立大学教授　小林 剛

■ 講演 14:10～17:00 （途中で休憩をはさみます）

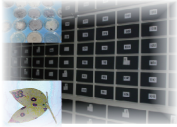
- 化審法における化学物質の情報基盤の整備・活用について
  中村 淳（製品評価技術基盤機構）
- 地理空間に関するオープンデータの現状と暴露評価への活用
  岩崎 亘典（農業環境技術研究所）
- AIST-MeRAM：化審法対応可能な実務的生態リスク評価管理
  林 彬勒（産業技術総合研究所）
- 農薬インベントリーを構成する様々なデータベースの構築と生態リスク評価への活用
  永井 孝志（農業環境技術研究所）

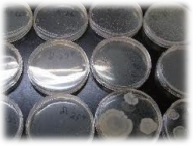
■ 総合討議 17:00～17:30

ファシリテーター
稲生 圭哉（農業環境技術研究所）

※ 終了後に情報交換会(会費制)を実施します。

【土壌・昆虫・微生物標本、データベース等の展示も行います 】





【お問い合わせ先】 〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3 (独)農業環境技術研究所　TEL / FAX : 029-838-8351
農業環境インベントリーセンター 對馬誠也・吉松慎一　Email: inventory0227@niaes.affrc.go.jp